



島根県立大学公開講座

「糖尿病患者さんのための リフレッシュ講座」

生活習慣病の一つ「糖尿病」。発病後は、生涯自己管理や治療が必要となるため、患者さんやご家族は毎日の生活でストレスを抱えていることも。10月17日(木)、出雲市内の糖尿病患者さんや島根県立大学のスタッフなど15名がふるさとの森を訪れました。



森の中で深呼吸



飯南町のりんごと利休饅頭は絶品!!



飯南町産の和牛肉・舞茸・野菜のみを使用した加田の湯弁当(県大管理栄養士監修)

県立大学ヘルスツーリズム研究会では、県内の豊かな自然を活用し、糖尿病患者さんとその家族の「心」と「体」をリフレッシュするツアーを平成28年から開催。今年も飯南町で、森林セラピー体験と地元野菜をふんだんに使ったお弁当を食べるバスツアーを企画されました。ツアー参加者は「森の中で寝転がれて気持ちよかった」「日頃の疲れがとれた」「11月になったら紅葉を見にまた来たい」などと話していました。

俳句 琴峯華句会 十月例会作品抄

厨こと撈る日なり秋澄めり 安部 豊枝
深庇並ぶ農機具秋日濃し 石田シツカ
猪垣に干し連ねたり畑の物 垣内 良野
山の影伸びて暮れゆく刈田かな 佐々木康子
ななかままと父と登りし山の色 田部智津子
荒れ畑に今満開の蕎麦の花 森 征子

短歌 赤名短歌会 十月例会詠草

追憶に耽つてしばし独り言くんな秋の夜たまにはいいか 澤田久美子
秋晴れや小さく揺るる吾亦紅にトンボ二匹がつつと遊べり 星野 敦子
往きたまふ兄への想ひ消えぬまま後行く人の支えとならむ 吉川 暎子
摩天崖とけこむやうに陽が沈み海辺の波は秋を刻めり 鳥田 勝信
道成寺を舞ふ人形の眼差しにをりをり潤む秋のともしび 石田フクエ
かもしだす星ふるしんにに彼岸花月も誘つ中秋の花火 澤田 勝登
幾度か風雨に倒伏の稲を刈る苦痛を秘めつつ泣くコンパイン 本間 麗子
吾が狂気人を危めし罪業は何をもちてぞ償はれしや 清原 豊明
桜もみじ見つけてもみじの手が躍るまにおみやげ小さな秋を 門所 詠子

Table with columns for names, birth dates, and family/region information. Includes sections for 'すこやかにかに' and 'やすらやかに'.



今日の人権標語 「家族でつくる人権標語」優秀作品から 泣かないで一人じゃないよ 大丈夫!

頓原中1年 高岡 咲季さん
志々小5年 高岡 善秋さん
家族名 高岡 晃さん
標語に込められた思いを町民みんな意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙 10月30日(水)、石見銀山と三瓶山で好評の「天空の朝ごはん」が飯南町で初めて開催されました。まだ真つ暗な午前5時。瀬戸山城跡を目指し、ライトを灯して歩く48人の大名行列。山頂に到着すると、登り道で流れた汗と温まった体を冷たい風が冷やします。冷えた体に染みわたる温かいスープとコーヒーが、誰よりも素敵な日をスタートさせてくれました。



飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会



魅力再発見のワークショップ

設立から10年を迎えた、国道54号活性化アクションプラン推進協議会。しかし、どんな目的で、どんな活動をしているのか知らない人も多いのでは?本協議会の取り組みを連載で紹介しします。

■問合せ 国道54号活性化アクションプラン推進協議会(い〜にゃん人つなぎ協議会) 電話76-2864(地域振興課)

島根大学の学生来たる!

飯南サテライトラボラトリー(ふるさと回帰館)で飯南町との共同研究をしている島根大学の学生46人が授業の一環で、10月20日(日)と27日(日)に飯南町を訪れました。

20日には午前道の駅赤来高原や赤名酒造で、経営方針や松江尾道線が開通してからの人の流れの変化の話や聞き、銀山街道赤名宿(赤名連担地)を歩きながら調査。午後からは道の駅とんぼら周辺の施設で関係者から話を聞きました。

道の駅とんぼら周辺エリアの魅力再発見

27日には道の駅とんぼらとラムネMILK堂、ぶなの里、大しめなわ創作館で話を聞いた後、「道の駅やまなみ周辺エリアの魅力再発見するワークショップ」が行われました。学生が道の駅に求めるものは興味深いものばかり。視点の違いに驚かされました。

今回のアイデアを本協議会全体で共有し、多くの人が訪れるエリアの実現に向けて今後も取り組んでいきます。



学生の目にはどう映る!?